

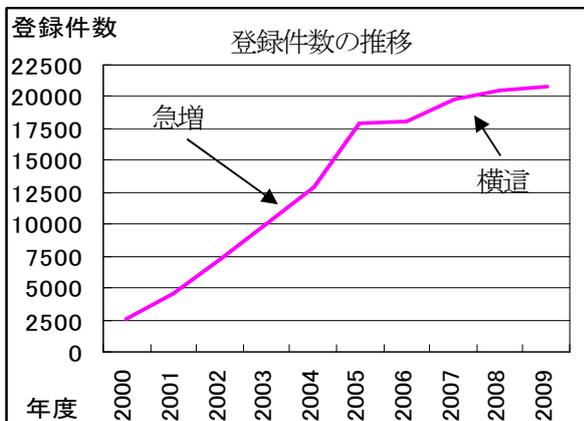


ISO14001登録件数の現状…

◇当社が ISO14001 を認証取得してから8年が経過しました。最近のISO14001の認証取得企業数の推移を見ますと、増加率としてはやや停滞傾向にあります。

下表は、各年3月末時点での登録件数を表します。
(上段：年度。下段：登録件数、JABホームページより)

2000年	2001	2002	2003	2004
2,604 件	4,609	7,291	10,022	12,867
2005	2006	2007	2008	2009
17,851	18,099	19,779	20,549	20,799



当社は2001年6月取得ですので、2002年の調査件数に含まれます。その当時と比べて3倍の登録件数となっていますが、2005年以降は総数で3000件弱の登録数となっています。景気の低迷もあると思いますが、今後も環境意識は向上させ、環境保全活動する企業が増加してほしいものです。

本号の内容

P	項数	項目
1	1	10～12月に実施する事項
2	3	全国エコ川柳あれこれ
	4	地球温暖化防止対策推進なるか？！
3	5	トキ 2次放鳥される
	6	写真・イラスト・作文募集

印刷配布：ESB、CMD、QJK、EMR、EMR、EM、事、C/Kn、Na (15部)、ネット配信：A、To

HPに掲載する都合により、2項は割愛しました。

日精電機ホームページURL

<http://www.nissei-motor.co.jp/>



クリタケ (撮影：A.Watanabe)

1. 10～12月に実施する事項

・10月～12月及び1月期に実施/活動する事項です。

月	内容
10月	日精電機株第52期スタート 緊急事態に対する準備及び対応訓練 (各部署) 事務局定期フォロー 設備・工程の月例点検 2009年第2回定期環境管理委員会(予定) エコ川柳募集終了(月末)
11月	事務局定期フォロー 設備・工程の月例点検 エコ川柳作品掲示/審査開始(第1期～月末)
12月	エコ川柳作品掲示/審査 (第2期～20日頃まで) 事務局定期フォロー 設備・工程の月例点検 エコ川柳大賞発表/表彰式(年末終業時) EMPのまとめ(2009年度 第三節:末日)
1月	仕事始め 事務局定期フォロー ISO14001News(16号)発行予定 設備・工程の月例点検 2009年度 内部環境監査準備開始

※ EMP=「環境マネジメントプログラム」の略

緊急事態の対応訓練は、10月中に実施/検証をお願いします。1年に1回のことですが、忘れずをお願いします。

現在、エコ川柳を募集しておりますが、10月末で切です。まだ投稿していないという方、まだ間に合います。

環境管理委員会は、緊急事態訓練終了後に実施したいと考えていますので11月になるかと思えます。

3. 全国エコ川柳あれこれ

「第2回 日精電機環境（エコ）川柳」は、今月末で作品応募を締め切ります。11月、12月は作品の審査期間となりますのでみなさんお好きな作品への1票を宜しくお願いします。（詳細は、後日掲示します）

さて、前年から開催しております環境（エコ）川柳ですが、調べてみますと全国様々な企業、自治体などもエコをテーマに川柳を募集しているようです。（インターネット検索：検索ワード「エコ川柳」）一例を表にまとめました。下記以外にもエコ川柳を募集している企業は沢山あります。

名称	募集テーマ／目的	主催
全日本エコ川柳	省エネ、リサイクル、地球温暖化などエコ関連	姫路市
JAF みんなのエコ川柳	エコ。森、自然、ゴミ、リサイクルなど	J A F
射水市 エコ川柳	環境・自然に関するもの	射水市環境課
横浜市港南区 エコに役立つ「川柳」	エコアイデアを川柳にして募集	横浜市港南区
エコセン	川柳、俳句、和歌もOK	フジワラ産業（大阪）
海老名市 エコ川柳	家庭における省エネ行動	神奈川県海老名市
深谷市環境エコ川柳コンテスト	地球温暖化やごみ問題などの環境問題	深谷市

姫路市主催の「全日本エコ川柳」は2002年(平成14年)から実施されています。毎年全国から5000句以上の応募がある日本一有名なエコ川柳となっているようです。

また、JAF(社)日本自動車連盟主催の「JAF みんなのエコ川柳」も、JAF会員の皆さんは周知の川柳ではないでしょうか。更にJAF主催による小学生を対象とした「JAF ぼくの&わたしのエコ川柳」も応募作多数の中で実施されています。

さて、日精電機のエコ川柳ですが、前回第1回において投稿者10名、応募作品27句でした。

今回の第2回ですが、9月末時点での応募作品は〇句となっており前回は遙かに上回る作品が寄せられています。投票ですが10月末で応募を締め切りますので、それまで応募された作品を一同に介して並べます。作品の掲載順は応募順ではなく順不同で同一応募者作品は並べないように配慮します。投票時点では氏名の公表もしません。今回の試みとしては、投票を前期と後期に分けたことです。前回の総投票数は60票でしたが、投票人数が20名と少なかったので今回は2期に分けて得票数を増やすのが目的です。

また、前期に投票を忘れていても後期に投票してもらうことも良いです。

皆さん、作品（川柳）はまだ募集しています。投稿をお願いします。
11月以降は作品への投票があります。御協力をお願いします。

4. 地球温暖化防止対策推進なるか？！

先の衆議院選挙により民主党議席が過半数以上を獲得して自民党に代わり民主党が政権を掌握しました。

さて、今回の衆議院選挙は各党のマニフェストが焦点となり注目されましたが、民主党は地球温暖化防止対策としてCO2排出量を2020年までに25%削減(1990年比)を目標としました。このことにより海外での評価は上がっているようですが国内では25%削減は難しいとする声が多く聞かれます。1990年比25%削減とは言いませんが、2005年度比ですと33.3%削減することになります。

日本と同じ1990年基準でEU(27ヵ国)は20~30%、英国が34%以上、ドイツが40%、フランスが20%、ノルウェーが30%となっており、決して日本の25%削減目標が高いわけではない。マニフェストに書いた以上実現できるように何らかの対策を推進すると共に、我々子組としても協力しなければ達成できない数字であることは間違いありません。11年後のことは分かりませんが、より近い数字で達成できていることを期待します。

参考に、長野県にも「長野県地球温暖化対策条例」があり、県民が協働して行うことを記述しています。

条例 一部抜粋	<p>第14条第1項・県民は、自動車から公共交通機関等への利用転換に努めます。</p> <p>第14条第3項・事業者は、従業員のマイカー通勤の削減に努めます。</p> <p>第15条・県民は、自動車の適正な整備及びエコドライブに努めます。</p> <p>第16条第1項・自動車を運転する者はアイドリング・ストップを行うよう努めます。</p> <p>ただし、やむを得ない理由がある場合はこの限りではありません。</p>
------------	--

主に、自動車使用削減から地球温暖化防止につなげようとするものです。

普段気にしていませんが、長野県としても地球温暖化防止に対する条例があることを認識してください。

参考資料:民主党マニフェスト、長野県庁HP、フリー百科事典「Wikipedia」

5. トキ 2次放鳥される

度々このISO14001Newsにてトキ情報を提供していますが、今回も動向がありましたので記事にします。

9月29日午前、佐渡市新穂正明寺で昨年に続いての第2次放鳥が行われました。

今回の放鳥されたトキの数は、20羽で前回10羽の倍となりました。放鳥初日こそ、2羽のみがゲージから飛び立った様子でしたが、10月3日までに20羽全てが大空へ飛び立った。前回は、1羽ずつを小箱に入れて放鳥した為にパニックを起し散り散りになった反省を踏まえて、今回は放鳥場所に設置された仮設ゲージで約1ヶ月間20羽を飼育して、放鳥時はゲージを開放してトキが自然に出て行くのを待つ「ソフトリリース方式」が採られました。前回の放鳥後には雄と雌が離ればなれでペアが誕生しない状態となりましたが、今回は放鳥3日目で早くも4羽が同じ木にとまる姿が確認されています。また同じ餌場でも5羽が数百メートル以内で行動したり、数グループの集まりが観察されています。バラバラに飛び立った昨年放鳥された10羽とは明らかに違う行動が確認されています。今回の放鳥で今後どの様になるのか見守りたいものです。

【参考】トキの個体数について：10月7日現在、国内で飼育されている数134羽

このほかに、9月29日放鳥20羽と昨年放鳥して現在確認されている8羽が国内に生息しています。

参考資料: Yahoo!ニュース、フリー百科事典「Wikipedia」、環境省HP、産経ニュース

6. 写真・イラスト・作文 募集

皆さんから写真、イラスト、作文を募集します。随時募集していますので宜しくお願いします。

尚、写真、イラスト、作文は本人のオリジナル作品であることが望ましいです。

◆**写真**：印刷物、は電子媒体であること。ネガでのご提供はご遠慮下さい。

記事にさせていただくに当たってサイズの変更、カット等を行う場合があります。

◆**イラスト**：はがきサイズ程度が望ましいですが、A4サイズまで可とします。スキャナで読み込みます。

電子媒体で作成されたイラストも可能です。

◆**作文**：400字詰め原稿用紙あるいは便せんで1枚～2枚程度。電子媒体は、800字程度でお願いします。

■**作品例**：投稿される作品には、タイトルを付けていただくとありがたいです。

こんな風景写真でも良いです。



「虹」 撮影者：H.Musha

おもしろいイラストでも良いです。



「地球」 イラスト：H.Musha

◆作品の内容／課題については、自由です。子どもの運動会、発表会、本人参加のイベント等々お知らせでも結構ですので皆さんの作品投稿をお待ちしております。

編集後記

◆9月11日に実施された「救急救命訓練」に参加しました。実は私自身以前にも訓練を受講したことはあるのですが、実際にみんなの前で訓練を行うのには慣れず、恥ずかしいというのが印象に残ります。参加された皆さんご苦勞様でした。貴重な経験ですので、もしもの時は訓練したことが生かせるようにしましょう。

次号は新年号。エコ川柳大賞の発表もあります。

次号

通巻16号 2010年1月発行(予定)

企画・作成・編集：武者 弘文(環境管理事務局)

発行責任者：中山 俊明(環境管理責任者)

発行：日精電機株式会社 ISO14001 環境管理事務局

Quarterly : 1・4・7・10 * Number : 1234567890 * Date2009_10_15④